

MONTHLY NEWS LETTER ★ 2016年4月26日号



食料等さまざまな物資がまだ高騰しているモザンビーク。4月のタンザニア出張で一番驚いたのは空港でも銀行でもモザンビーク通貨が両替できなかったこと。やっと見つけた両替所ではモザンビーク通貨の両替レートが市場レートの半以下でした。(後からモザンビーク通貨は海外持出禁止だと判明)。なお現在、サハラ以南地域では世界的な原油価格など一次産品の価格下落と、新興国経済の低迷等により、経済成長率は、3.3%と低い水準になると予測されています。

Topic
<1>

スラムの学舎・寺子屋の音楽教室で使う楽器をタンザニアで調達。

バガモヨとダルエスサラムで、パーカッション、カリンバ、キーボードを購入しました。



YOUTUBEにアップしています。
Zawose Music Family & Nadja_Kalimba



(写真上)
バガモヨの太鼓工房。
(写真下)
Zawoseさんの家でカリンバ特訓。

ダルエスサラムから北上すること2時間。バガモヨは奴隷の輸出港として19世紀に発展を遂げ、ドイツ領東アフリカ成立時には首都となった町。アフリカの伝統的な芸術を教える芸術大学もある、のどかな町です。バガモヨの太鼓工房で一押しの太鼓を購入。またゴゴ族の伝統的な音楽を今に伝える音楽一家であるZawose家でカリンバを購入し、翌日カリンバの練習に伺いました。ダルエスサラムでは、アンプとキーボードを購入。3, 4ヶ月も電気会社から待たされている寺子屋の通電が待ち遠しい限り！

Topic
<2>

NPO法人道普請人さんによる視察。

世界で活躍！土嚢袋を用いた道直しのパイオニアが現地訪問。

これまで19カ国で活動を展開されている道普請人(みちぶしんびと)の理事長京都大学木村教授と酒井さんがペンバの寺子屋と農村キサンガ地区を視察。キサンガ地区は雨期になると道路が壊れ一本道の主要道路が通行できなくなるため、ぜひとも道直しを実施したい！当会ではキサンガ地区で住民の自立を目指す職業訓練センター(木工・鉄工)の開設も計画しているため道直しの訓練も同時に行えるようになれば、と夢は広がります。



キサンガ地区・協働NGOとの活動も紹介させていただきました。

ペンバ・寺子屋にて。木村教授も酒井さんも魅力あふれる方で次の再会が楽しみ。



3月の
コラム
情報

**ファンファン福岡・コラム
セメント式ぼっとん便所』の作り方**

アフリカ南東部モザンビークの『セメント式ぼっとん便所』の作り方

<http://fanfunfukuoka.com/feature/39425/>

モザンビークのいのちをつなぐ会では、農村地区の学校の敷地内にトイレを設置する活動を続けています。これまで農村地区で見るとの異なる特徴。これは何を足す場所です。竹で造っただけで、トイレは無し。その竹製さえも壊れている場所もちらほら。

リンガの学校の鉄骨場所。竹が壊れてしまっています。この学校にはトイレを4箇所作りました。



『モザンビークのいのちをつなぐ会』

日本事務局: 福岡県北九州市小倉南区朽網西3-12-6

ペンバ事務局: Rua sem Saida, Bairro de Natite, Pemba, Mozambique

ホームページ <http://www.tsunagukai.com/>

口座番号

<ジャパンネット銀行>
本店: 001 (普) 4133553 エノモトメグミ
<三井住友銀行>
天神町支店: 717 (普) 1920099
モザンビークのいのちをつなぐ会 代表 櫻本恵